

特定非営利活動法人 日本免疫学会  
平成 28 年度後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award  
研究発表報告書

申請者氏名	Ha, Danbee	会員番号	0034350
申請者の所属・職名	大阪大学大学院医学系研究科 実験免疫学 / 博士後期4年		
出席会議名	Immune Regulation in Autoimmunity and Cancer (Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology)		
発表論文タイトル	ADCC-mediated in vitro depletion of human Treg cells by anti-CTLA-4 mAb enhances CD8+ T cell responses against self/tumor antigens		

実施結果: この度カナダウィスラーで開催されたKeystone Symposia (Immune Regulation in Autoimmunity and Cancer、2017.3.26から2017.3.31)に参加しました。学会のテーマが自己免疫および腫瘍免疫における免疫調節でしたので、現在私の研究テーマと関連が深く、これまでの知見と問題点、そしてこれからの方向性について検討できる良い機会だと思いました。

近年の腫瘍免疫学の成果として制御性T細胞などの免疫抑制細胞が増加し、腫瘍微小環境において抗腫瘍免疫応答を低下させることが明らかになっています。この免疫抑制細胞群の制御の戦略の一つとして世界的な注目を集めているのが免疫チェックポイント阻害剤であり、我々はその一つである抗CTLA-4抗体のメカニズムについて研究しています。しかし、このような抗腫瘍免疫治療は副作用として自己免疫疾患を起こす可能性があり、両方のバランスを取れる適切な療法の探索および詳細なメカニズムについてもっと研究が必要な状況です。

この度は世界各国からこのテーマを研究する人たちが集まり、いろんな最新の研究結果を発表したので、自分にとって非常に勉強になりました。私からも口頭発表・ポスター発表で「抗CTLA-4抗体による制御性T細胞の抑制と自己・腫瘍抗原特異的CD8 T細胞反応の向上」について発表し、活発にディスカッションができて、すごくいい経験になりました。いろんな人から受けたコメントも今後の研究に参考にしようと思っています。

Tadamitsu Kishimoto International Travel Awardのおかげで、このような貴重な経験をすることができました。日本免疫学会関係者の皆様に深く感謝しております。